

- 12月1日第5回会議で議論いただく内容について事前に連絡させていただきます。

## 第5回会議の予定

### 新火葬場の施設について

- 第4回会議に引き続き、新火葬場施設の機能等について意見をいただきます。新火葬場施設の機能から敷地面積を検討するため、委員長と副委員長からいくつかの施設のイメージが提示されます。
- ※ 施設のイメージ等の資料は会議当日に配付します。

### 参考：第4回会議（11月10日）の内容

第4回会議では、新火葬場の施設について議論しました。

新火葬場にはどれぐらいの敷地面積が必要となるかということに発展させるため、施設の具体的な機能を議論しました。

#### 【火葬炉】

4基で必要スペースを考える。

(意見)

- ・火葬炉の数について、1炉あたりの人口を県内施設と比較すると4炉が適当である。
- ・1日あたり平均の火葬件数が3.14件、1日最多火葬件数の想定が6件であることから、3基でもよいのでは。
- ・1つの炉で1日に1回しか火葬しないならば告別室と収骨室を分ける必要がないのでは。
- ・新しくなれば他の火葬場を利用していた者が高山火葬場を利用するようになる可能性があること、家族葬ができるような施設になれば利用者が増えると思われること、火葬炉をフル稼働させると耐用年数が短くなる恐れがあることから、4基設置して余裕があったほうがよい。
- ・4基設置できるスペースを確保しておいて、3基で不足するようならば増設するという選択肢もあるのでは。
- ・高山火葬場で希望する時間帯に火葬ができない事例があるのならば、1つの炉で連続して火葬することで、3基でもよいのではないか。
- ・施設として必要なスペースがどれくらいかを想定するための議論をしていて、ここで火葬炉の数を決めてしまうわけではないため、火葬炉は4基くらいで考えていきましょう。

#### 【炉前ホール】【告別室】【収骨室】

コンセプトに沿い、個別性が保たれるものとする。

(意見)

- ・炉前ホール、告別室、収骨室は一体として、利用者ごとの専用と感じられるものがよい。
- ・多治見市・華立やすらぎの杜の、お別れ室がそれぞれの炉と直結している感じがよかった。

#### 【待合室】

現時点で室数を決めず、待合室を設けることとして面積を考えていく。

(意見)

- ・火葬を待つ間におときを行うかによって待合室のあり方は変わってくる。

- ・火葬時間が短くなることから、いったん戻ってすぐに火葬場に来ることを考えれば、待合室は必要である。
- ・寒冷な冬や市の面積の広さなどを考えると、食事のできる待合室がほしい。
- ・旧高山市以外の利用者は火葬を待つ間に一旦帰ることができない場合があり、待合室は必要。火葬炉と同数の待合室が必要となるのではないかと。椅子と机の待合室を作ってほしい。

## 【葬儀場】【駐車場】

(意見)

- ・県内他施設と比較すると、葬儀場を作らなければ30台前後で十分ではないかと。
- ・将来の建て替えの際、駐車場で用地を確保できることが理想だ。
- ・葬儀場を併設するには広い土地を確保するために行き来しづらい場所となる恐れがある。
- ・多治見市を視察した際、葬儀場は自前の葬儀場を持たない事業者が月に1、2回利用するというところだったので、作らないほうがよいのではないかと。荘川火葬場と松ヶ丘公園斎場はこの先長期間使える火葬場ではなく、なくなった場合に高山火葬場を利用することを考え、駐車場はそれなりの広さがあつたほうがよい。
- ・市内に葬祭業者が4社あり、民間の業者にやってもらうことはよいことだから、葬儀場はいらない。
- ・市が葬儀場を設置すると、そちらを利用する回数が多くなり、事業者を圧迫することがある。家族葬をやる場所を設けるといふことならば、20名程度が利用できるもので、事業者の葬儀場ほどの規模のものは必要ない。駐車場を広く取っておけば、市民から葬儀場設置の要望があつた場合にも対応できる。
- ・独居老人が増え、地域コミュニティの結束が弱まることが予想され、小さくても葬儀場は作っておくべき。
- ・事業者を圧迫しないといふことならば、家族葬ができるバリアフリーの小さな葬儀場を作るべき。
- ・事業者が家族葬向けの葬儀場を作っており、また、寺院や公民館や自宅で葬儀をあげるといふ選択肢もある。
- ・敷地を決める際には葬儀場と駐車場の面積をゼロとはせず、余裕をとっておくといふ意見に収束しているのでは。
- ・駐車場に建て替えのスペースを確保することについて、将来、会議をしたり揉めたりすることがないよう、広めにとっておくのがよいのでは。
- ・寺院を活用すれば葬儀場に困ることはないのでは。コンパクトな火葬場がよい。駐車場に建て替えのスペースを確保することについて、将来にまったく違う発想が生まれることもあるから、現在必要な分だけ準備すればよいのでは。
- ・葬儀場があれば助かることもあると思うが、寺院に相談することもできる。葬儀を行わず火葬場だけで済ませる人もいる。火葬をしている横で葬儀を行うというイメージがわからない。

※詳細については議事録を確認いただきますようお願いいたします。

以上